

Organization

第14号 2026年2月13日 JRSE労働組合 発行責任者・山本真治

JR 東海労連大会開催

2月11日、私たちはJR東海労働組合連合会第3回定期大会を開催しました。

今回の大会は、昨年12月24日に加盟が承認された私たちJRSE労働組合(JE労)を加えたJR東海労・JRサービック労働組合(JS労)との3単組による新体制で臨む、記念すべきリスタートの場となりました。

◆平和を脅かす国際情勢に反対する仲間を拡大しよう！

今、世界では権力者の利潤追求の為に、多くの尊い命が犠牲になっています。トランプ大統領に象徴される力による他国への軍事・政治・経済的侵略や宗教・ナショナリズムを盾にした利権争いが絶えません。

国内に目を向ければ、2月8日の衆議院選挙において、裏金問題の批判をかわす形で解散を強行した自民党が公示前の議席を大幅に上回り、単独過半数を獲得しました。「これで衆議院の任期満了(4年)まで、自民党のやり放題で、「憲法改悪への動き」「軍事大国化への加速」「労働者置き去りの政策」が懸念されています。

私たちはこれからも、あらゆる戦争や戦争政策に反対し、労働者・市民が安心して生活できる社会を築くために、連帯の輪を拡大していかなければなりません。

◆現場労働者に犠牲を強いることは許さない！

JR東海は、リニア建設に現時点で11兆円という巨費を投じる一方で、現場や地域社会への誠実な対応を欠いています。

各地では工事被害や環境被害が発生していますが、地域住民の声や計画の見直し・中止を検討する姿勢は全くありません。その他方でJR東海は、「業務改革」の名のもと4500名の人員削減を強行しています。またグループ会社に対しては、収益至上主義の徹底で、賃金抑制と経費削減、社員間の競争心を煽っています。こうした「社員への規律と忠誠心」のみを求める経営に対して、私たちは「NO!」を突きつける必要があります。

◆共に声を上げ、共に闘おう！

大会では、私たちが直面している厳しい現実を再認識し、「共に働く仲間と、共に声を上げ、共に闘うことで、私たちの権利と利益を勝ち取る」方針を決定しました。

仲間のみなさん！

今こそ組織の壁を越え連帯して、私たちの命と生活を守るために奮闘しましょう！

メールアドレスは、jrserou0907@gmail.comです。